

ナルフラフィン塩酸塩カプセル 2.5 μg 「BMD」

【この薬は？】

販売名	ナルフラフィン塩酸塩カプセル 2.5 μg 「BMD」 NALFURAFINE HYDROCHLORIDE CAPSULES 2.5 μg 「BMD」
一般名	ナルフラフィン塩酸塩 Nalfurafine Hydrochloride
含有量	1カプセル中 ナルフラフィン塩酸塩 2.5 μg (ナルフラフィンとして 2.32 μg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、そう痒症改善剤と呼ばれる薬です。
- ・この薬は、オピオイド κ (カッパ) 受容体に作用することにより、かゆみを抑えます。
- ・次の目的で処方されます。
次の患者におけるそう痒症の改善（既存治療で効果不十分な場合に限る）
透析患者、慢性肝疾患患者
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。医師の指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にナルフラフィン塩酸塩を含む成分で過敏な反応を経験したことがある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

〔この薬を使用するすべての人に共通〕

- ・肝臓に重度の障害がある人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・授乳中の人

〔慢性肝疾患によるそう痒症の改善のためにこの薬を使用する場合〕

- ・腎臓に障害がある人

〔透析によるそう痒症の改善のためにこの薬を使用する場合〕

- ・肝臓に中等度の障害がある人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量、飲む回数、飲む時間帯は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

1 回量	1 カプセル (2.5 μ g)
飲む回数	1 日 1 回夕食後又は就寝前

1日の最大使用量は、2カプセル (5 μ g) までです。

〔血液透析によるそう痒症の改善のためにこの薬を使用する場合〕

この薬の使用から血液透析開始までは十分な間隔をあけてください。

〔腹膜透析によるそう痒症の改善のためにこの薬を使用する場合〕

この薬の使用から透析液交換までは十分な間隔をあけてください。

●どのように飲むか？

水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

夕食後の使用を指示されていて、飲み忘れに気がついたのがその日の就寝前の場合は、1回分を飲んでください。それ以外の場合は、飲み忘れた分はとばして、次に飲む時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

幻覚、不安、ひどい眠気、眠れないなどの症状があらわれるおそれがあります。これらの症状があらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・眠気、めまいなどがあらわれることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作はしないよう注意してください。
- ・この薬により、プロラクチン値上昇などの内分泌機能異常があらわれることがあるので、適宜検査が行われることがあります。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。

- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・グレープフルーツジュースはこの薬の血しょう中濃度を高め、作用を増強することがありますので、飲まないようにしてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、体がかゆくなる
眼	白目が黄色くなる
口や喉	吐き気
腹部	食欲不振
皮膚	皮膚が黄色くなる
尿	尿の色が濃くなる

上記の副作用以外に、血液透析によるそう痒症の改善のためにこの薬を使用している人では、不眠、便秘、眠気が使用開始後2週間以内に多く認められています。また、慢性肝疾患によるそう痒症の改善のためにこの薬を使用している人では、不眠、眠気、便秘、頻尿・夜間頻尿が使用開始後4週間以内に多く認められています。このような症状があらわれた場合には、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の形は？】

PTP シート	
形状	楕円球状の軟カプセル剤 
長径	約 9.7mm
短径	約 6.4mm
重さ	約 244mg
色	淡黄白色不透明
識別コード	BMD57 (PTP シートに表示)

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ナルフラフィン塩酸塩
添加物	トコフェロール、ラウリルジアミノエチルグリシンナトリウム液、メグルミン、チオ硫酸ナトリウム水和物、マクロゴール 400、中鎖脂肪酸トリグリセリド、ゼラチン、コハク化ゼラチン、濃グリセリン、酸化チタン

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：株式会社バイオメディクス (<https://www.biomedix.co.jp>)

電話：03-5244-9264

受付時間：9：00～12：00、13：00～17：00

（土、日、祝日を除く）